

# 紀伊山系直轄砂防事業の 対応状況について

---

国土交通省 近畿地方整備局  
紀伊山系砂防事務所

## ■紀伊山系直轄砂防事業について

平成23年紀伊半島大水害で発生した河道閉塞(天然ダム)等の大規模土砂災害に対し、平成24年度より特定緊急砂防事業を実施し、基幹となる砂防堰堤の整備等により被災箇所の安全度の確保を図ってきたところである。

一方、紀伊半島大水害以降、流域全体では山腹等の荒廃が進み、崩壊斜面等から大量の土砂が流出し、河川に流入した土砂により河床が上昇することにより、洪水氾濫の恐れが高まるなど、未だに危険な状態が続いていた。加えて、大規模土砂災害対策箇所では崩壊斜面部等で引き続き対策が必要な状態のため、国による「紀伊山系直轄砂防事業」として着手している。

全体の事業計画としては、今後、流域の荒廃状況等を把握した上で、優先順位の検討を含めた計画的な事業展開を行う。今年度、大規模土砂災害対策箇所では、流路工等の残工事、溪流からの土砂流出が著しく認められる神野川流域(奈良県)での砂防堰堤工事及び高田川流域(和歌山県)での調査・検討を予定。



【凡例】  
 事業の対象流域：熊野川流域、日置川流域、那智川流域  
 ●：対策箇所

# 川原樋川床固工群の対応状況

- 整備目標
- ① 河道閉塞部末端部に対策の基幹となる砂防堰堤を整備し、河道閉塞土砂の侵食防止を図る。
  - ② 砂防堰堤・床固工を整備し、河道堆積土砂の二次移動防止を図る。また、溪流保全工を整備し、湛水池からの越流水を安全に流下させる。
- 現状
- ① 河道閉塞土砂の侵食防止を図るための基幹となる砂防堰堤が完成。
  - ② 河道内堆積土砂の二次移動防止のための砂防堰堤・床固工が完成。
- 河道閉塞土砂の侵食防止を図る基幹となる砂防堰堤及び堆積土砂の二次移動防止のための砂防堰堤が完成したことで、一定の安全度が確保されている。平成30年度は越流水を安全に流下させるための溪流保全工を実施し、引き続き安全度の向上に努めていく。



※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

### ■整備目標

- ①河道閉塞部末端部に対策の基幹となる砂防堰堤を整備し、河道閉塞土砂の侵食防止を図る。
- ②排水路等を整備し、湛水池からの越流水を安全に流下させる。また、不安定土塊を除去し、斜面の拡大崩壊を抑制する。

### ■現状

- ①河道閉塞土砂の侵食防止を図るための基幹となる砂防堰堤が完成。
  - ②越流水の安全な流下のための仮排水路が完成。また、崩壊斜面の拡大崩壊を防ぐため、不安定土塊の排土を実施。
- 河道閉塞土砂の侵食防止を図る基幹となる砂防堰堤及び、越流水を安全に流下させるための仮排水路が完成しており、一定の安全度が確保されている。平成30年度は砂防堰堤上流部の水路工(推進工)に付帯する工事に着手し、引き続き安全度の向上に努めていく。

※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

	…完成
	…H30施工予定
	…H31以降



写真Aへ↓

- 整備目標
  - ①河道閉塞部末端部に土砂流出を防ぐための砂防堰堤を整備し、河道閉塞土砂の侵食防止を図る。
  - ②水路等を整備し、河道堆積土砂の二次移動防止及び湛水池からの越流水を安全に流下させる。
- 現状
  - ①土砂流出を防ぐための砂防堰堤が完成。
  - ②河道内堆積土砂の二次移動防止及び越流水を安全に流下させるための崩壊地下流の排土工を実施。
 →土砂流出を防ぐための砂防堰堤が完成したことから、一定の安全度が確保されている。平成30年度は平成29年の台風で流出し、堰堤背面に堆積した土砂の排土および水路の復旧工事を実施し、引き続き安全度の向上に努めていく。



※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

■整備目標

- ①河道閉塞末端部の安定化を図るための砂防堰堤を整備し、河道閉塞土砂の侵食防止を図る。
- ②砂防堰堤・床固工を整備し、河道堆積土砂の二次移動防止を図る。また、溪流保全工等を整備し、洪水流を安全に流下させる。

■現状

- ①河道閉塞土砂の末端部の安定化を図る砂防堰堤本体が完成。
- ②河道内堆積土砂の二次移動防止のための砂防堰堤工及び洪水流の安全な流下のための溪流保全工が完成。

→宅地に近い最下流の砂防堰堤が完成し、さらに河道閉塞土砂の末端部の安定化を図る砂防堰堤本体が完成したことから、一定の安全度が確保されている。平成30年度は河道閉塞土砂末端部の砂防堰堤本体を保護するための前庭保護工および斜面部の排土工を実施し、引き続き安全度の向上に努めていく。

①排土工 現況



②溪流保全工・砂防堰堤工



③前庭保護工 施工状況

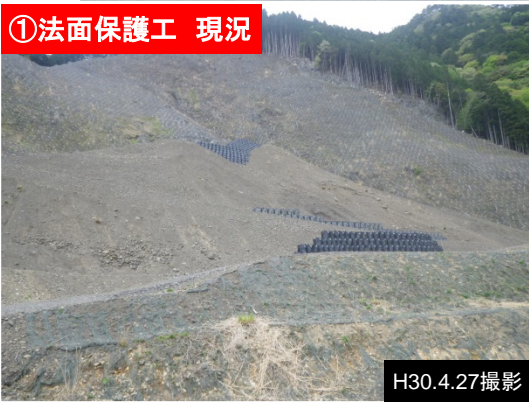


※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

■整備目標  
 ①護岸工を整備し、崩壊斜面脚部の洗掘防止を図る。  
 ②斜面抑止工を整備し、崩壊斜面上部の安定化を図る。

■現状  
 ①崩壊斜面脚部の洗掘防止のための護岸工が完成。  
 ②崩壊斜面上部の安定化を図るための斜面抑止工が完成。  
 →崩壊斜面上部の安定化を図るための斜面抑止工が完成していることから、一定の安全度が確保されている。平成30年度は、法面保護工に着手し、引き続き安全度の向上に努めていく。

	・・・完成
	・・・H30施工中
	・・・H30施工予定
	・・・H31以降



※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

■整備目標

- ①護岸工を整備し、崩壊斜面脚部の洗掘防止を図る。
- ②斜面抑止工を整備し、崩壊斜面上部の安定化を図る。
- ③集水井工を整備し、地下水の集水及び自然排水させる。

■現状

- ①崩壊斜面脚部の洗掘防止のための護岸工が完成。
- ②崩壊斜面上部の安定化を図るための法面工の一部を施工中。
- ③集水井1基が施工完了。

→崩壊斜面脚部の洗掘防止のための護岸工が完成したことから、一定の安全度が確保された。平成30年度は法面工を実施することで、引き続き安全度の向上に努めていく。

①法面工 施工状況

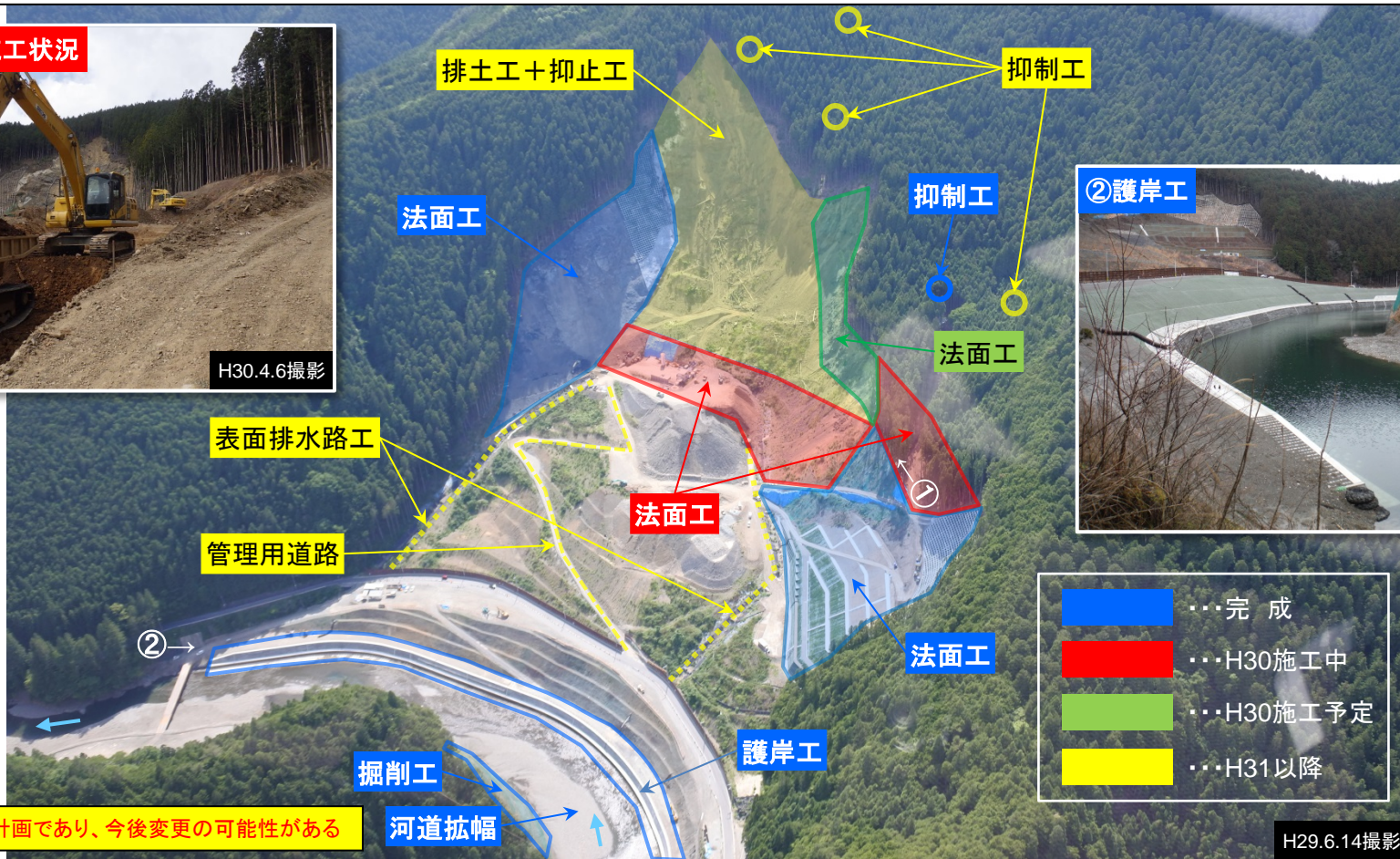


H30.4.6撮影

②護岸工



H30.3.22撮影



	・・・完成
	・・・H30施工中
	・・・H30施工予定
	・・・H31以降

※現時点での計画であり、今後変更の可能性がある

H29.6.14撮影



# 三越川砂防堰堤群の対応状況

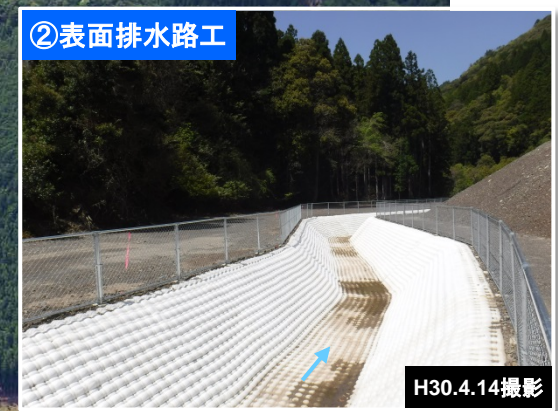
## ■整備目標

- ①護岸工を整備し、崩壊斜面脚部の洗掘防止を図る。
- ②砂防堰堤・床固工を整備し、河道堆積土砂の二次移動防止を図る。

## ■現状

- ①崩壊土砂脚部の洗掘防止のための護岸工が完成。
- ②河道堆積土砂の二次移動防止のための砂防堰堤・床固工を実施済み。

→表面排水路等の対策も完了し、一定の安全度が確保された。



.....完成

H30.4.18撮影

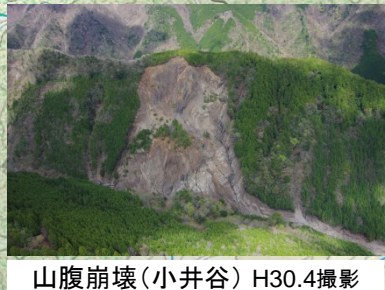
かんの  
神納川流域における直轄砂防事業予定

■進捗状況

- ① 小井谷砂防堰堤の工事に着手。5月20日現地(五百瀬地区)にて起工式典を開催。
- ② その他神納川流域内での砂防事業実施に向けた調査・検討を行っている。
- ③ 事業の実施にあたっては、林野庁や奈良県が近傍で事業を実施しており、調整を図りつつ進める。



流域対策図



- 凡例
- 紀伊山系砂防事務所
  - 林野庁
  - 県森林整備課
  - 県河川課
  - 電源開発(株)
  - 既設砂防堰堤
  - 山腹崩壊箇所

※着色は完了(実施中含む)  
白抜きは未着手

この図は、奈良県より提供していただいた資料を基に作成

■整備目標

①砂防堰堤を整備し、河道堆積土砂の二次移動防止を図る。

■現状

①小井谷砂防堰堤の工事に着手。(平成31年度完成予定)

②流域内で土砂流出が著しい箇所で砂防事業実施に向けた調査・検討を実施。

①工事用道路 現況



## ■整備目標

①砂防堰堤を整備し、河道堆積土砂の二次移動防止を図る。

## ■現状

①流域内で土砂流出が著しい箇所では砂防事業実施に向けた調査・検討を実施。

